

No.24-14
2024年3月29日

鹿島工場 潮来ミックス分工場における 再生可能エネルギー電力の導入について

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 塚越英行）は、CO2フリー電力の導入により、プレミックス製品の主要な製造拠点である潮来ミックス分工場（茨城県潮来市）の使用電力を実質100%再生可能エネルギーとします。

潮来ミックス分工場では施設内にPPAモデル（※）による太陽光発電設備を設置し、2022年5月より稼働を開始しています。本設備の発電能力は250kW、年間発電量は約400MWhで、稼働前と比較してCO2排出量を年間約150t削減しておりました。

この度、本太陽光発電で賄っている以外の使用電力について、2024年4月より全てCO2フリー電力（発電時にCO2を排出しない再生可能エネルギーの証書を活用した電力）に切り換えます。これにより、年間約740tのCO2削減効果を見込みます。

当社グループは、環境目標としてCO2排出量を2025年度までに2013年度比で30%以上、2030年度までに46%以上削減する目標を掲げています。

今回の再生可能エネルギーの利用に加え、省エネの推進、燃料転換などを更に加速し、地球温暖化や気候変動等の環境対策を積極的に推し進めることで、引き続き、環境に配慮した活動を行ってまいります。

※PPAモデル（Power Purchase Agreement：電力販売契約）：発電事業者が費用負担して設置した太陽光発電設備による電気を、需要家が一定期間購入するビジネスモデル



【鹿島工場 潮来ミックス分工場屋根に設置した太陽光発電設備】

以上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>
昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室
TEL：03-3257-2042 担当：赤松